



## 急な災害 我が家の備え

2018年9月の胆振東部地震を原因としたブラックアウトから、まもなく4年経ちます。現在では、多くの酪農家で発電機が用意されていることと思いますが、準備不足で使えないことも想定されます。今回は、電気と水への日頃の備えについて、事例を交えてお知らせします。

「もしものとき」は**悪天候が多い**ことを想定して準備をしておくことが大事！

### 予行演習もぬかりなく！ ～酪農家 Mさんの場合～

☆7～8年前(ブラックアウト前)に発電機を購入。年に1度は点検・整備。

※牛舎内のミルクカー、バルクなどはもちろん、扇風機を最大で回してもまかなえる出力のもの

☆予行練習の結果、接続ケーブルが重く時間がかかることが分かったため、発電機に固定した。

☆コンプレッサーをつなぐなど、週に1回は発電機を使う。その方が長持ちする。

☆雷等で電力が不安定なときには、搾乳だけでなく、半日ほど回しっぱなしにして牛舎の電力全てを発電機でまかなう機会ととらえている

☆配電盤には、接続に使用する道具一式を常時入れている。

☆断水時は近くの小川からくみ上げるため、ポンプを準備している。

☆断水に備え貯水タンク購入とディッピング剤の空き容器を保管。5トンは貯水可能。

### もう一度、思い出して！ ～ブラックアウト直後の声～

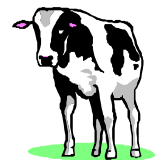
☆配電盤までの通路を確保(除草等など)していてよかった。

☆配電盤に接続方法を図で張っておいたので、慌てず済んだ。

☆発電機の「エコモード」を使ってしまい、電圧が大きすぎてミルクカーの制御盤が壊れた。

☆想定していた発電機の設置場所が雨でぬかるんで遠くなり、ケーブルが届かなかった。

☆給水ポンプへの発電機の接続方法が分からず、水がくめなかった。



### 日頃の備え チェックリスト

- ✓ 発電機を所有しており、発電機を動かしたことがある
- ✓ 発電機の中に入っている燃料の種類と残量を把握している
- ✓ 所有している発電機で、どこまで動かせるか把握している(バルク、ミルクカー、除糞、ボイラー、扇風機、照明、パソコン…)
- ✓ 発電機接続に必要な道具、器具の在処が明確になっており、農場内で共有されている
- ✓ 水を貯めるためのタンク等を所有している
- ✓ 我が家の“必要な” & “可能な” 貯水容量(タンク等の容量)を把握している
- ✓ 断水時、どこから水を確保するか決めている(井戸水、近くの小川、給水車を待つ?)
- ✓ 年に1回以上、2人以上で予行演習をしている(自分だけ分かってもダメ)